

歩くほどに

深町 準之助

歩くほどに  
町なかの風景も微妙に変わる  
その変わり身の早さ  
おどろくうち  
空家 空地 建替え  
またも転変  
路地から路地へ  
曲がり込んだところで  
出会う人も変わった  
「△□△」  
はてどなたかな  
見上げれば  
もはや？  
変わりようない空  
ゆつゆ雲がゆく

『黄櫨』50号発行記念講演会

日時 8月24日(日)午後1時30分 会場 八女社会福祉会館  
講師 麻生 渡先生(前福岡県知事・福岡空港ビルディング(株)社長)  
演題 日本の将来 少子化の進む中で私達は何をすべきか  
安保博史先生(県立群馬女子大学文学部教授) 演題 黄櫨の会と私  
人生史サークル黄櫨の会(平成9年発会)の会誌黄櫨50号発行を記念して  
講演会を開催します。皆さんお気軽にご来場下さい。(聴講無料)

社会が求めている様々な問題に取り組み、時代の変化に合わせた活動を  
続けてきた八女青年会議所は、創立55周年記念大会を開催します。  
日頃より私たち八女JCを支えていただいている地域の方々への感謝を  
忘れることなく、希薄になったと言われる郷土愛や日本を誇る心を取り  
戻すために、未来のその先を示すことのできるひとつづくりをこれからも  
展開していきます。

記念事業 矢部川たなばた物語 ~提灯の灯りが織りなす天の川~  
日時 8月2日(土)16:00~ 場所 千間土居公園



記念講演会 青山繁晴氏 ~日本の出番、祖国は甦る~

日時 9月28日(日)16:00~  
場所 おりなす八女 大ホール  
入場料 500円  
お問い合わせは、  
八女JC事務局 0943-24-4022 まで

Facebookでコミュニティを楽しもう(6)

小欄を書き始めたのは2年ほど前だったと記憶しますが、その頃のFacebook(以下FB)はそこま  
で一般的な存在ではなかったよ  
うな気がします。ひるがえって現在、  
日本のFBユーザー数は2000万人  
を超え、世界的に見てもFBが  
たいへん盛り上がっている国に  
なったと伝え聞きます。

現在販売されているスマート  
フォンには、はじめからFBのた  
めのアプリがインストールされ  
ている場合も多くなっており、IT  
が得意でない方、コンピューター  
が嫌いな方であってもその敷居は  
日々下がってきていると思いま  
す。ですのでこれを読んでいる方  
はチャンスがあれば是非始めてみ  
ていただきたいなあとと思うところ  
です。

話は変わりますが、履歴書を提  
出した会社が応募者個人のFBの

内容をチェックする、などとい  
う話も聞いたりします。就職活動  
の世代はFBをやっていない応募  
者のほうが少ない、もしかすると  
ちゃんとしたFBを持っている応  
募者の方が就職に有利ということ  
もあるかもしれません。

「ちゃんとしたFB」と変な書き  
方をしましたが、FBのタイムラ  
イン(あなたがFB上に書き残し  
たもの)は、文章であれ、写真で  
あれ、インターネット上のリンク  
であれ・・・その人の人柄をはっ  
きりと表します。いわゆるあなた  
の生きてきた足あとのようなもの  
になってきます。公序良俗に反す  
ることを書いてないか、言葉遣い  
は乱雑でないか・・・

就職先の会社さんとしては・・・  
そりゃあいろんな意味で参考にな  
るだろうなあ・・・と思いますが・・・  
なんか息苦しい感じもしますね。

呟き

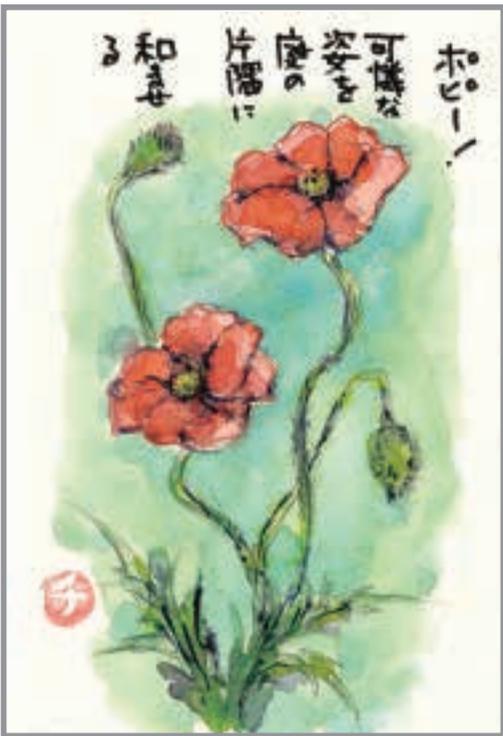
八月になると

八月が来る度に決まって私  
の夢に現れる光景がある。  
「ほら、夏ちゃん顔を出して見  
てごらん。きれいだよ」と、母  
の声。  
「花火みたい。きれい」と、  
母の背に負ふさつて答える幼い  
私の声。  
きれいな。と、避難先の河川敷  
で母と見たのは、夜空を真っ赤  
に染めて燃える町の火。爆撃機  
から投下され、遠く空で炸裂  
した焼夷弾の光に浮かび上がった、  
影絵のような鎮守の森。  
終戦まじか、兄と姉は母の里  
に疎開。父も母も二歳の私だけ  
は手元に置いて、運命を共にす  
る覚悟であつたらしい。  
家業の鋳物工場には大きな防  
空壕があつたが、激しさを増す  
夜毎の空爆に、駅に近い工場は  
危ないと父は判断した。その夜、  
父は工場に残り、母は私を負  
ぶつて近所の人と共に郊外に逃  
げた。  
私の顔に焼き付いた燃える夜  
空と、母とやり取りした声が、  
二歳の私の記憶の海に沈み、そ  
れが、八月になると夢になって  
甦る。  
今年もまた八月が巡つて来  
た。私は七十二歳になる。戦争  
体験を後世に語ることが出来る  
最後の年代だ。細い細い記憶の  
糸を丁寧に手繰り寄せると、一  
緒に逃げた三歳年上の勇ちゃん  
の悲鳴にも似た声が聞こえてく  
る。  
「母ちゃん、下駄が田圃に挟ま  
って抜けないよ」  
六十九年前、空から雨の如く  
降る火を、二歳の私は確かに見  
た。  
夏生

楽しい絵手紙



八女市蒲原 土井 千代子



毎月第一火曜日、大東寺にて絵手紙教室。大坪次太先生御指導の下で、明るい皆さまに囲まれ、楽しいときを、戴いております。五感を刺激し、癒され、穏やかになります。又、植物の幾何学的な美しさを、観察する感覚が変つて来たようです。小学生の頃、クレヨンから、クレパスをにぎった時の喜びと重ね合わせ、これからの絵手紙教室の時間を過ごして行きたいと思ひます。大東寺様、大坪先生、教室の皆さま、有がとうございます。

九州大会・全国大会に出場します!

~「農業クラブ」県大会報告~

八女農業高等学校

福岡県内の農業を学ぶ高校生が参加して日頃の学習成果を競い合う、福岡県学校農業クラブ連盟の年次大会が実施されました。大会の何ヶ月も前から勉強や練習を人一倍積み重ねて、昨年より劣らぬ優秀な成績を残すことができました。成績は、以下の通りです。

- 意見発表の部：区分「食料・生産」最優秀(九州大会出場) 生産技術科3年 松延 真澄
- プロジェクト発表の部：区分「環境」最優秀(九州大会出場) 生産技術科3年 牛島 咲稀 他9名の研究チーム
- 農業鑑定競技最優秀(全国大会出場)5名
  - 「園芸部門」 システム園芸科3年 肥後橋 謙士朗
  - 「畜産部門」 生物利用科 3年 中村 尚太
  - 「生活科学部門」 生活科学科 3年 角 穂奈美
  - 「食品科学部門」 生物利用科 3年 田端 美那
- 農業機械技術検定競技最優秀(全国大会「農業鑑定競技」出場) 生産技術科 3年 山中 拓哉

この他にも意見発表1名、鑑定競技7名、農業機械技術検定競技1名が優秀賞、スローガンの部2名が特選を受賞しました。

九州大会は8月5日~7日に佐賀県伊万里市で、全国大会は10月21日~23日に沖縄県で開催されます。それぞれの大会の最高の賞を目指して、さらに頑張ります。



八女農みらい館 8月販売日

5日、8日、12日、19日、22日、26日、29日  
毎週火曜日と金曜日、販売時間は、10時30分~12時30分です。